

2017年6月2日からシカゴで開催された「2017年 アメリカ臨床腫瘍学会 学術集会」(以下、ASCO)に日本癌治療学会からPALの1人として昨年に続き、今年も参加する機会をいただきました。

学会参加申込と渡航前準備及び宿泊に関して

昨年と違い、既に今年のASCOに参加することは前もって知っていましたので、秋からホテル探しを始めました。しかし、既にホテル側もASCO開催時に多くの学会参加者が世界中から集まることを把握している為、前年秋の時点で既に、シカゴ中心部にあるホテル1泊の宿泊価格が200ドル位~になっていました。4泊の宿泊費プラス宿泊税・サービス料となると、かなりの金額になります。検討した結果、私は今年もAirbnbを利用した民泊滞在をすることにし、渡航前に滞在先を予約しました。

ダウンタウンエリアのホテルに滞在の場合、ホテルまたは近くのホテルから学会会場となるマコーミックプレイスに行く無料シャトルバスを利用することが出来ます。私は、ダウンタウンとは逆にあるシカゴ大学の近くに滞在した為、会議場直結の駅があるMETRAという電車を利用しました。

Metraの本数は、それほど多くはないためネットで時刻表を調べていくとスムーズに移動できました。また、Metraなど利用できるアプリがあるため、これをダウンロードすることにより、キャッシュレス・チケットレスで乗車することが可能でした。



学会会場「マコーミックプレイス」内にある Metra 駅の入り口

2年目の参加者として

昨年に続き、2年目の参加となりました。2年目の参加者は、今年参加される方のサポートも行います。学会事務局から参加者決定と方々のお名前との連絡をいただきました。その後、Facebookを活用し、ASCO参加者のみ閲覧・投稿可能な非公開グループページを作成しました。

Facebookページ上で、昨年得た情報や経験だけでなく、今年の学会参加に関するASCO PAL事務局からの情報やシカゴ行きのフライトと到着日時、滞在先についても共有することができました。



ASCO 2017 到着時

ASCO2017の初日は、午後からプログラムがスタートする予定になっていたため、初日の午前中にシカゴ到着し、空港からシャトルバスで直接会場に向かいました。

シカゴ空港から学会会場であるマコーミックプレイスに向かう途中、Facebookのグループページで到着と会場に向かっていることをPAL参加者の二人に伝えました。シャトルバスがマコーミックプレイスに到着し、会場内に入ると学会受付があります。そこで、既に自宅に郵送されていた参加者バッチを受付に見せると、バッチをつけるストラップや資料をくれました。

その後、会場内のPatient Advocate Lounge(PA ラウンジ)前でがん治療学会から派遣されたPAL参加者2名と会うことができました。3人が一堂した時点では、まだPAラウンジは閉まっていたのですが、しばらくして、PAラウンジが開かれました。

PALラウンジに入ると、事務局スタッフがいます。ここでも、参加者バッチを見せて、受付・登録を行います。早速、PAラウンジに入り、お昼頃だったのでそこで軽食と飲み物をいただいた後、午後のセッション会場に移動しました。



Patient Advocate Lounge 入り口前の表示



ASCO 会場内の案内所・Patient Advocate Lounge の受付

ASCO Patient Advocate Lounge

PAL ラウンジには、いつも軽食と飲み物、P Cが用意されています。また、患者団体等の資料も置いてあります。ラウンジが開いている時間は、いつでも気軽に立寄ることができます。もちろん、世界各地から参加している患者、支援者、患者団体の方々と交流することができます。

PAL ラウンジには、PCとプリンターも用意されており無料で誰でも利用することができます。ランチタイムには、ランチが提供され、また患者団体等によるセミナーが開催されています。こちらのセミナーは参加自由です。



PAL Lounge に用意された軽食



PAL Lounge に置いてある自由に持ち帰り可能な資料



PCコーナー・ランチタイムに行われるセミナーの様子

日本癌治療学会ブース

会場には、世界各地から参加した学会事務局や大学、製薬会社等のブースもあります。日本癌治療学会も会場内にブースを設けていました。時間が開いているときに、ブースでPR活動のお手伝いをして下さいと事前に連絡があったため、私たちPAL参加者も時々、ブースに行き日本のチョコレートや10月に横浜で開催される学会の案内パンフレットを配布しました。

用意されていた一口サイズのチョコレートは100個か200個程度だったため、すぐになくなってしまいました。海外に行く時に、交流できるよう小さな折り紙を持ってきた為、その後は、折り紙で小さな鶴を折り、テーブルを飾り、希望者に配りました。

立寄られた方々から、以前日本に行ったよ、というコメントを頂いたり、今度私たちの国で行う学会でお話してくれる先生を紹介してくれませんか？という問合せがありました。

学会ブースに立寄られた方々と、ASCOに参加されている方々と交流、来たのは良かったのですが、対応しているうちに、自分が参加したかったセッション時間になりセッションに行きそびれてしまうことがあったのが残念です。学会事務局からスタッフが渡米されているとのことですので、今後は、セッション参加に支障がないようできるだけ、事務局の方がブース対応されるとよいかと思います。



Women Networking

昨年につき、今年も Women's Networking Center で行われたセミナーにも参加しました。こちらは女性対象のプログラムが用意されています。女性であるという共通点のもと医師、研究者、患者誰もが平等に意見を発することができます。

今回、パワースピーチというセミナーを受講しました。こちらは、会場が満員になる人気セミナーでした。講師は、ビジネスコーチとして活躍されている、乳がんサバイバーです。

上司や部下との交渉の仕方等、患者会等の活動でも活かせる内容だったと思います。

この他に、今年はメンターセッションというものが取り入れられました。以前、国際保健、公衆衛生の研究を行い、海外の災害医療現場にコーディネーターとして従事した経験があったこと、関心がある分野であることから、私はグローバルオンコロジーの分野で活躍されている女性医師の方とお話する機会を得ました。災害が起きた時の治療継続支援の在り方について意見を交わすことができました。

海外のN G Oでは、グローバル・オンコロジー分野に取り組んでいるところがあります。日本の国際協力の分野や災害医療の経験が、今後、ASCO が取り組んでいるグローバル・オンコロジーの分野で活躍できる日が来るのではないかと考えています。



Women's Networking Center の入り口 こちらにも飲み物と PC が置いてあります。



Women's Networking Center で行われたセミナーの講師
(彼女は乳がんサバイバーです)

最後に

昨年は、会場の雰囲気になれることに時間が取られていましたが、今年は、会場の雰囲気やどこにどの会場があるか大体把握できていたので、会場内の移動も楽になりました。

ASCO には、世界各地から参加される方と交流する機会があります。PAL ラウンジで、来年また来ますか？また、会えるといいですね、と言ってアメリカやヨーロッパから来た参加者の方と別れました。離れていても、一年に一度、ここで仲間と再会できると考えると、次の一年、またいろいろ学び、それを自分だけでなく社会にも活かしながら元気に過ごそうと前向きにいろいろ取組むことができます。

昨年に引き続き、貴重な経験と出会いを得る機会をいただきありがとうございました。



2017 年の PAL 派遣 3 名